

松山市 北条での環境整備（河野高山・大浦）について（平成27～28年度）

- 北条の河野高山地区、大浦地区で、平成27年度から平成28年度にかけて、愛媛大学農学部と連携し、イノシシ等の野生鳥獣から農作物被害等を受けにくい環境の整備を行った。
- 具体的には、平成27年度に、両地区で、センサーカメラを用いた野生動物の生息調査や地元報告会を実施し、平成28年度には、調査結果に基づき、防除効果が最も発揮されるラインでの共同柵設置を提案、市が柵資材を提供し、地元農家等が協力して、それぞれ約1.8キロに及ぶ共同柵を整備した。



- この事業を通じ、地元農家等、集落住民の被害防止に対する意識は高まり、現在も、地域が協力し、定期的な柵の点検、補修や柵周囲の草刈りなど、地道な管理がなされている。
- なお、事業実施から2年を経過した令和元年度、愛媛大学と市が各地区に出向き、被害状況や土地利用状況の変化などを聞き取りするとともに、現在の柵の管理状況を現地確認した。
- 現在、各地区住民へのイノシシ等の被害に関するアンケート調査(令和元年度)を集計中で、事業実施後の被害意識の変化や、取組意識の変化などを確認し、今後、地元での報告会を経て、事業効果をまとめる予定である。



※平成28年度に、各地区の住民の方が協力して、人と野生鳥獣とを棲み分ける柵を整備。

○ 北条 河野高山地区 共同柵設置ライン



○ 北条 大浦地区 共同柵設置ライン

